

J R 東海労働組合関西地「申」第27号
2 0 1 9 年 3 月 4 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 松 寄 道 洋 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 畑 野 浩 孝

「大阪台車検査車両所における助勤」に関する申し入れ

2月25日、大阪修繕車両所の勤務発表で、一部社員に対して大阪台車検査車両所への日勤（※助）指定がされ、助勤であることが明らかになった。

今回の大阪台車検査車両所への助勤が始まる理由を、現場社員に対して一切明らかにせず、一方的に日勤（※助）に指定している。

よって、以下の通り申し入れるので早急に労使協議の場を設定すること。

記

1. 大阪修繕車両所から大阪台車検査車両所への助勤の理由を明らかにすること。
2. 助勤により大阪修繕車両所の要員が減となる。今後、大阪修繕車両所及び大阪台車検査車両所における年休抑制や休日出勤等が発生しないのか明らかにすること。
3. 大阪修繕車両所の管理者は「助勤の期間は、3月～5月まで」と答えている。何故、この期間なのか理由を明らかにすること。
4. 大阪修繕車両所から大阪台車検査車両所への助勤は2名となっている。他の車両所から大阪台車検査車両所への助勤はないのか。また、今後、助勤が増える可能性があるのか明らかにすること。
5. 大阪修繕車両所と大阪台車検査車両所の要員数を明らかにすること。
6. 大阪台車検査車両所では、残業が常態化している。その原因を明らかにすること。
7. 大阪台車検査車両所での、UT・FB検査、軸箱交換・検査作業、周期延伸＝80万kmテストカーの台検入場による作業変更等、各種検査作業に必要な要員数を明らかにすること。
8. 各車両所における検査作業見直しによる必要な要員を確保すること。また、助勤による要員不足を補うようなことはやめること。

以上